

# HA プロキシ ログイングの有効化

## 目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[HAProxy ログを有効にする手順](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

## 概要

この記事では、Cisco Policy Suite ( CPS ) で High Available-Proxy ( HA-Proxy ) ログイングを有効にする手順について説明します。HAProxy は、高可用性のロード バランシング用に使用されます。パフォーマンス上の理由から、デフォルトでは HAProxy はメッセージをログに記録しません。

注: HA-Proxy に関連した問題が発生した場合のみ、HAProxy ログを有効にしてください。

## 背景説明

HA-Proxy ログイングは、CPS システム内の他のデバッグ ログによっても特定できないような、HA-proxy に関連する潜在的な問題が見られる場合のみ有効にする必要があります。

## HAProxy ログを有効にする手順

すべての手順は、ロードバランサのフェイルオーバーが発生するたびに、HA-Proxy ログが処理されるように、アクティブなロードバランサ仮想マシン ( VM ) 上で実行し、パッシブなロードバランサで繰り返す必要があります。

1. `haproxy.cfg` ファイル ( `/etc/haproxy/haproxy.cfg` ) に移動し、次のイメージに示す内容と同じエントリが含まれていることを確認します。デフォルトでは、ほとんどの場合でログレベルが `debug` に設定されます。これを `err` に変更してください。そうしないと不要なログが記録されてしまいます。

```
stats auth      admin:broadhop # force HTTP Auth to view stats
stats refresh   60s          # refresh rate of stats page
log             127.0.0.1      local1 err
```

2. ログイングを実行する対象となるプロキシを選択します。HAProxy 設定ファイルには、`svn_proxy`、`pb_proxy`、`Portal_admin_proxy` など、多くのプロキシ設定が含まれます。次の画像では、`svn_proxy` 用に HAProxy ログイングを有効にする手順を示します。

```
listen svn_proxy lbvip02:80
    mode http
    log global
    balance roundrobin
    option httpchk
    option httpclose
    option abortonclose
    server pcrfclient01 pcrfclient01:80 check inter 30s
    server pcrfclient02 pcrfclient02:80 check inter 30s backup
```

3. `/etc/syslog.conf` ファイルを編集し、次の画像に示すようにエントリを追加します。local1 が手順 1 と同じ名前であることを確認してください。

```
# SNMP Trap Logs
local2.* /var/log/snmp/trap
# HA Proxy Logging
local1.* /var/log/haproxy.log
~
```

4. `/etc/sysconfig/syslog` ファイルを編集し、この画像に示すように変更します。r のみ追加してください。これにより、リモートマシンでのロギングが保証されます。

```
# See syslogd(8) for more details
SYSLOGD_OPTIONS="-rm 0"
# Options to klogd
```

5. `/etc/logrotate.d/syslog` ファイルを編集し、次の図に示すように `/var/log/haproxy.log` のエントリを追加します。

```
/var/log/messages /var/log/secure /var/log/maillog /var/log/spooler /var/log/boot.log /var/log/cron /var/log/snmp/trap /var/log/haproxy.log |
sharedscripts
postrotate
    /bin/kill -HUP `cat /var/run/syslogd.pid 2> /dev/null` 2> /dev/null || true
    /bin/kill -HUP `cat /var/run/rsyslogd.pid 2> /dev/null` 2> /dev/null || true
endscript
```

7. `service syslog restart` および `service haproxy restart` コマンドを使用して、syslogd および HA-Proxy プロセスを再起動します。